

## なぜ日本の DX は進まないのか

なぜ日本の DX が進んでいないのか。日本の DX に対する取り組みと他国の DX に対する取り組みを定量的・定性的に比較するものとした。先行研究では、DX 概念が広く普及している結論を述べていた。日本の業界全体が DX 概念を多義的な解釈をもって活動していると断言していることが明らかになっていた。しかし、問題点として DX の概念が様々であるが故に日本企業の約半数は DX に取り組んでいないのが現状であった。また、日本企業の DX の普及は海外企業と比べて本当に推進されているのかを明らかにすべきであった。

本研究の目的は、先行研究において指摘されてきた日本企業の DX 課題を克服する方法を明らかにするために、日本の社会課題と企業課題におけるプロセスに注目し、その問題点を明らかにすることである。日本の現状は、デジタル技術的な側面では海外のとの差はあまり感じられなかった。差があったのは、日本企業の DX を支えていくための人材不足が根本となる問題点であった。日本の DX が遅れている原因では初段階で DX を始めるのが遅かったことが米国とのデジタル技術の差を生んでいた。また、日本の社会問題である高齢化や経営層のデジタル技術のリテラシーの低さが日本企業の課題点として明らかになった。さらに、昨今のコロナウイルスの外部環境の変化により DX の重要性が上がっていた。今後のさらなる議題として、IT 人材育成の課題を議論していく必要がある。